

高等学校理科（生物）採点基準

5枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	(1)	ア	2	全部合っているものだけを正答とする。	8
		イ	1		
		ウ	3		
		エ	1		
		オ	1		
		カ	5		
		キ	1		
		ク	4		
		ケ	1		
		コ	4		
		サ	1		
		シ	5		
	(2)	1、3、4	全部合っているものだけを正答とする。	8	
	(3)	ア	1	全部合っているものだけを正答とする。	4
イ		10			
ウ		5			
エ		2			
	オ	8		4	

96

高等学校理科（生物）採点基準

5枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	2	(1)	ア	1	全部合っているものだけを正答とする。	8
			イ	1		
			ウ	1		
			エ	2		
			オ	1		
			カ	1		
			キ	3		
			ク	3		
			ケ	1		
	(2)	2、3、5	全部合っているものだけを正答とする。	8		
	(3)	ア	1	全部合っているものだけを正答とする。	8	
		イ	9			
ウ		2				
3	(1)	1、3、5	全部合っているものだけを正答とする。	8		
	(2)	6		8		
	(3)	7		8		
4	(1)	2、4、5	全部合っているものだけを正答とする。	8		
	(2)	ア	4	全部合っているものだけを正答とする。	8	
		イ	7			
		ウ	9			
	(3)	ア	5	全部合っているものだけを正答とする。	8	
		イ	7			
ウ		2				

高等学校理科（生物）採点基準

5枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
2	1	ア	6	全部合っているものだけを正答とする。	2
		イ	1		2
		ウ	3		3
		エ	1		3
		オ	7		3
		カ	5		3
	2	2、4、5	全部合っているものだけを正答とする。	10	
	3	溶岩噴出後の経過年数 [年]	4	全部合っているものだけを正答とする。	10
		植生の高さ [m]	2		
		地表照度 [%]	4		

高等学校理科（生物）採点基準

5枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点		
3	1	ア	1	全部合っているものだけを正答とする。	4	30	
		イ	3				
		ウ	3	全部合っているものだけを正答とする。	5		
		エ	7				
		オ	8				
		カ	6				
		キ	5				
	2	ア	4	全部合っているものだけを正答とする。	3		
		イ	10				
		ウ	2	全部合っているものだけを正答とする。	3		
		エ	5				
		オ	7	全部合っているものだけを正答とする。	3		
		カ	4				
	3	(1)	1				2
		(2)	2				2
		(3)	オ	2	全部合っているものだけを正答とする。		2
			カ	2			
			キ	2			
(4)		3			2		
(5)		ク	4	全部合っているものだけを正答とする。	4		
		ケ	1				
		コ	5				
		サ	3				
		シ	2				

高等学校理科（生物）採点基準

5枚のうち5

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
4	1	<p>【理科における「見方」】 自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉えること。(他に、関係的な視点、実体的な視点、共通性・多様性の視点等)</p> <p>【理科における「考え方」】 比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。(他に、条件を制御したり、多面的に考えたりする)</p>	内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	6	24
			内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	6	
	2	レポートの作成、発表、討論など、知識及び技能を活用する活動を工夫する。	問いを正しく捉えていけば、内容は異なってもよい。	12	
5	1	<p>①調査場所をいくつか選び、軍手をして、採集缶を用いて土壌を採集する。その際、周囲に見られる植物や地表の状態を記録する。</p> <p>②採集した土壌を白色のバットに広げ、ピンセット等を用いて、比較的大きい土壌動物を採集する。採集した土壌動物は70%〔体積%〕エタノール水溶液の入った管ビンに入れる。</p> <p>③②の作業後の土壌を、ツルグレン装置に約24時間かけて土壌動物を採集し、70%〔体積%〕エタノール水溶液の入った管ビンに入れる。</p> <p>④ルーペと双眼実体顕微鏡を用いて②・③で採集した土壌動物を観察し、図鑑やインターネットに接続できる機器を利用して種類を調べる。</p> <p>⑤調査場所ごとに観察できた土壌動物の種類数や個体数を調べ、環境によるそれらの違いについてまとめる。</p>	問いを正しく捉えていけば、内容は異なってもよい。	10	20
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を何のために行うか、実験ではどのような結果が予想されるかを考えさせるなど、見通しをもたせる。</li> <li>・調査場所の環境以外の、土壌を採集する方法や採集する土壌の量等の条件をそろえる必要があることに気付かせる。</li> <li>・土壌を採集する際には軍手をして、土壌動物を直接手で触らないようにするなど、安全に留意した計画にさせる。</li> </ul>	問いを正しく捉えていけば、内容は異なってもよい。	10	